2020/12/15 community indicator forum
「目標・指標を活用した参加型の地域づくり」～CICインパクト・サミット報告～

お互いさまの社会の実現に向けて

5 GOALS for 黒部

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会
総務課長補佐/経営戦略係　小柴　徳明

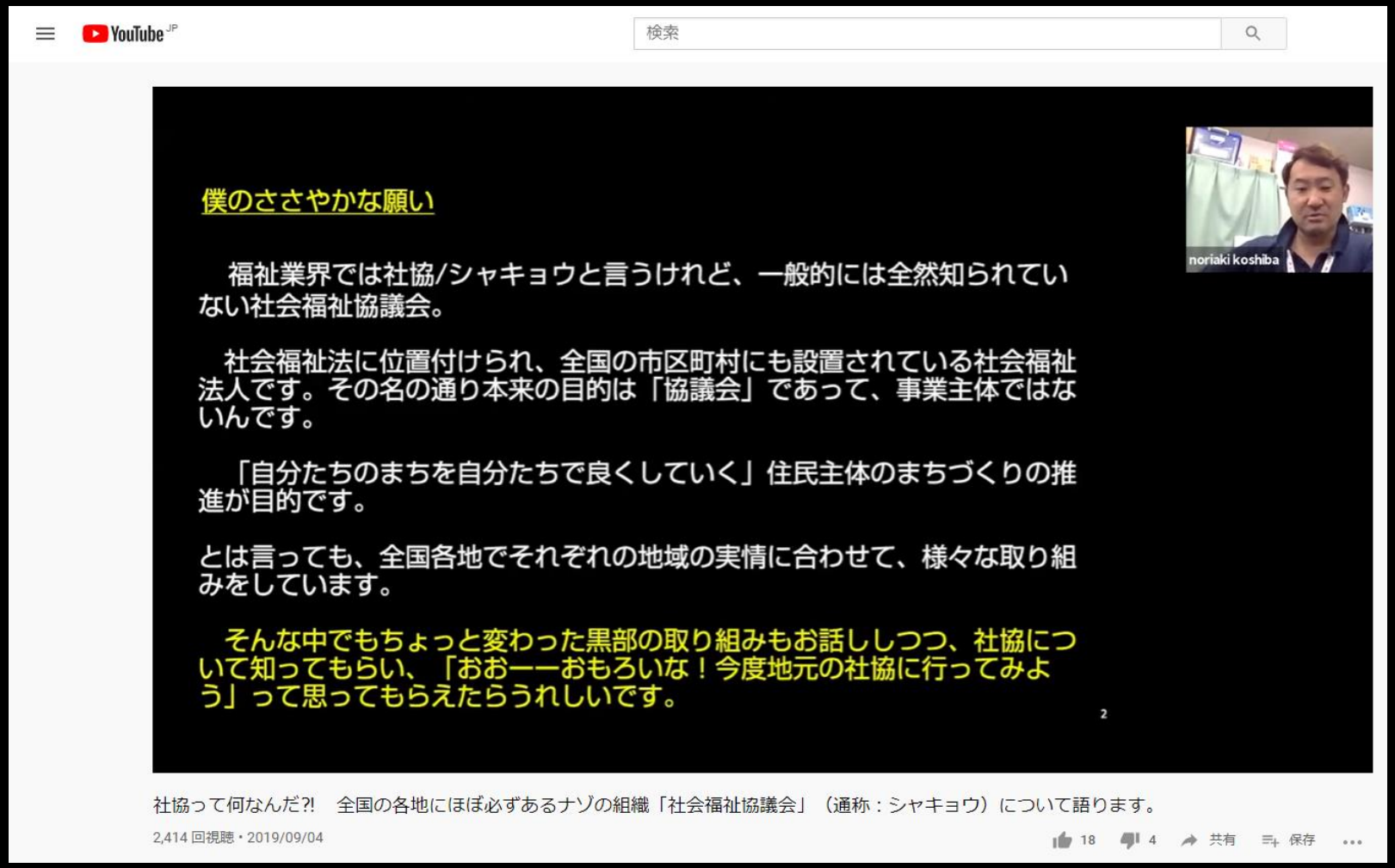
【仕　事】
○社会福祉法人黒部市社会福祉協議会
　総務課長補佐　経営戦略係

○国立研究開発法人情報通信研究機構
　ソーシャルICTシステム研究室　協力研究員

【志　事】
○NPO法人明日育（あすいく）

○LINEWORKSアンバサダー

○CI-labo（community indicators labo）



Code for Japan

シビックテックオンラインアカデミー＃17

https://hackmd.io/@codeforjapan/BJ3IEJMZE/%2F9MTizEIITiOO1TFMGm5vdA?type=book

YouTube

https://youtu.be/L8qy-YDJfQw

黒部市社会福祉協議会HP

http://www.kurobesw.com/

シンクタンク報告書・広報誌がダウンロードできます。

社会福祉法人　黒部市社会福祉協議会

koshiba-noriaki@kurobesw.jp

質問・疑問なんでもどうぞ。

１０歩先を見え据えた取り組み

ICTや新しい技術革新を活かした地域福祉の推進へ　shakyo3.0

スマート社協3.0構想

まだ誰も描き切れていない、未来の地域福祉のあり方を！

ICTや新しい技術革新を活かした地域福祉の推進へ　shakyo3.0

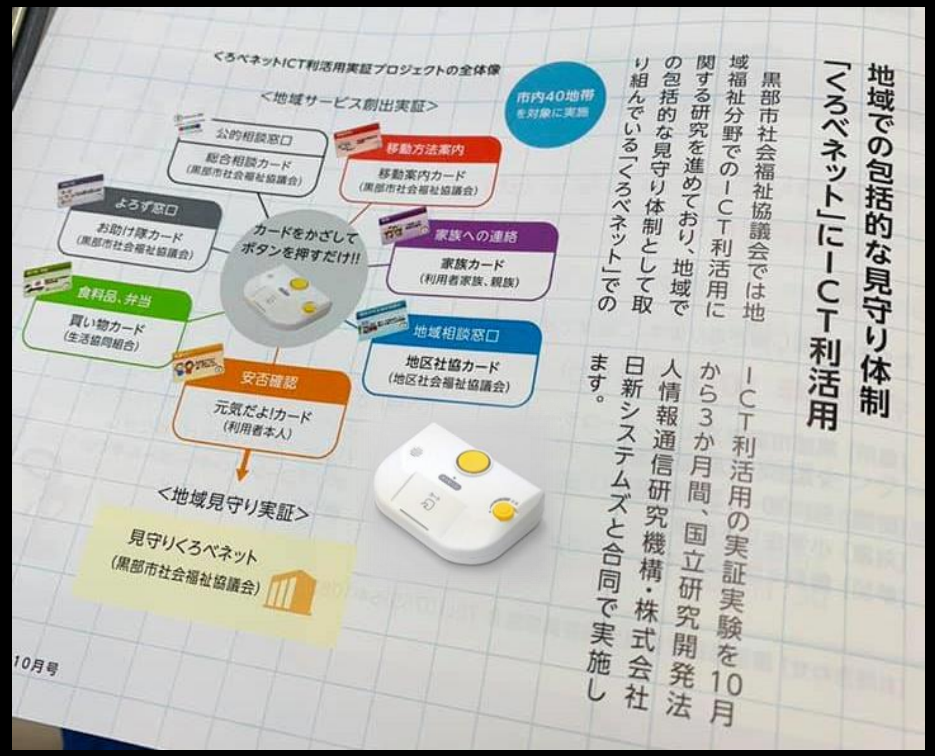
スマート社協3.0構想

【5goals for 黒部】
市民に分かりやすく伝え、
みんなの目指すべきgoalを示す。

【地域福祉分野におけるICT利活用実証実験】
支援する人が支援しやすい環境づくり
ICTリテラシーが低い、後期高齢者を支える
官民協働のプラットフォーム
※国立研究開発法人情報通信研究機構、株式会社日新システムズ、黒部市社協の三者協定

【LINE botによる新たな相談窓口】
相談のハードルを下げ、
早くからのリーチをつなげるしくみ
将来的な情報発信のキーとなるしくみ

【個人活動の可視化】
社会にどう貢献したか、
自分自身の活動ログが
見えるようにする。



【ビジネスチャット】
コミュニケーションツール
働く人がより働きやすく、
より本業に力を注げるように。

ICTや新しい技術革新を活かした地域福祉の推進へ　shakyo3.0

スマート社協3.0構想

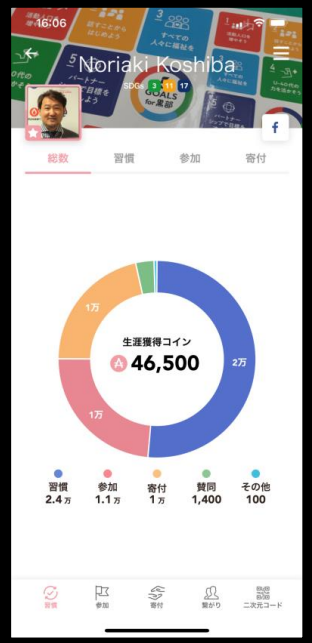
見える化

【5goals for 黒部】

市民に分かりやすく伝え、
みんなの目指すべきgoalを示す。

【個人の活動ログ】

社会にどう貢献したか、自分自身の活動ログが見えるようにする。



5 GOALS for 黒部ワークショップ

「みんなでつくろう！ふくしの指標」

お互いさまの社会の実現に向けて

今日のやること

オープニング：そもそも今日の目的は…

Ⅰ．お話しの時間

・計画はつくって終わりじゃない
・ローカルSDGs「5goals for 黒部」/これからどうする
・目指す形とあり方

Ⅱ．準備の時間

・これまでのおさらい
・今日のやること　by下山さん

Ⅲ．みんなで考えてつくる時間

・みんなで考えようWS&指標探し

計画は、つくって終わりじゃない！

（あるある）
そもそも5年に一回…
結構な労力の割に…
社協の計画になりがち…

そして、計画自体に実行力はありません。

**せっかくつくるのなら、活きた計画つくろうよ！
から始まっています。**

1 活動人口を増やそう
2 話すことからはじめよう
3 すべての人々に福祉を
4 U-40代の力を活かそう
5 パートナーシップで目標を達成しよう

5 GOALS for 黒部

前提

みんな良くしようと思っている。

仮説

「気づくきっかけ」と「動くきっかけ」
をつくりだせば良い。

黒部の地域を見える化する

- 黒部の実態や現状などを見える化
  （客観的データ）
- 市民の声や活動が見える化
  （活動実態/現状把握）
- 将来のイメージを見える化
  （ネガティブ/ポジティブ）

見て、気づく

疑問に思う、課題に思う
喜ぶ、悲しむ、不安に思う

さらに調べる、見る

心が動く、Actionにつながる

参加を促進するしくみ

- 参加したい活動を見つける
  （気づきからのActionへ）
- 活動したことが個人に残る
  （貢献度の可視化）
- 活動した量が見える
  （活動の可視化）

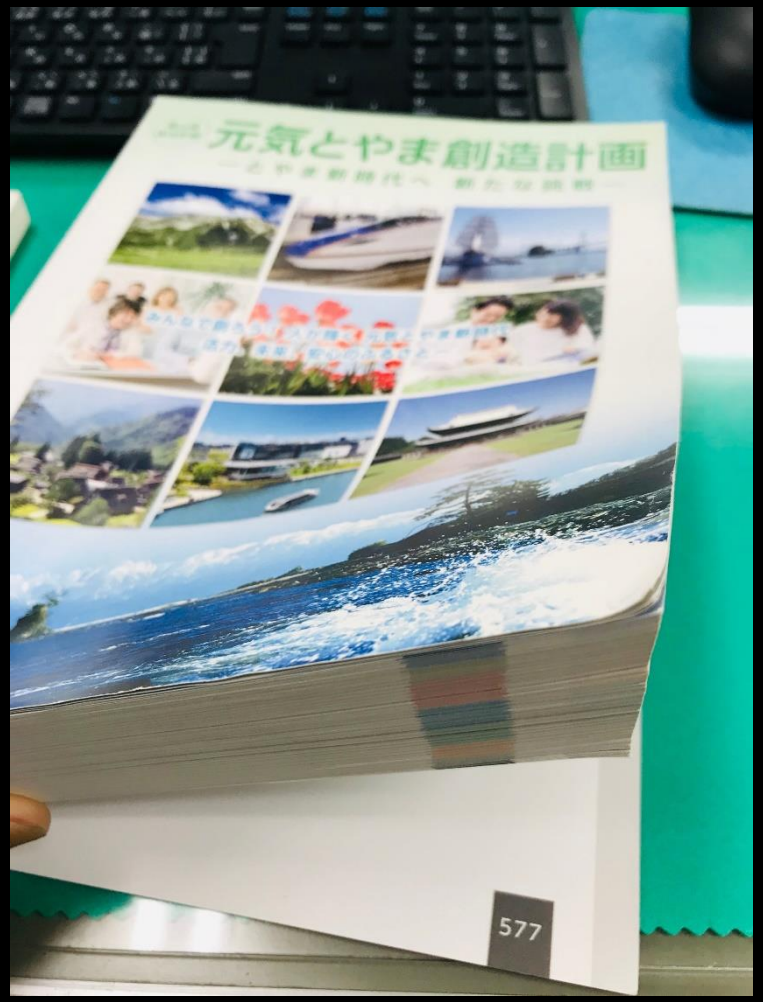
WEB上で活動を探せる環境

活動が見える、参加できる環境

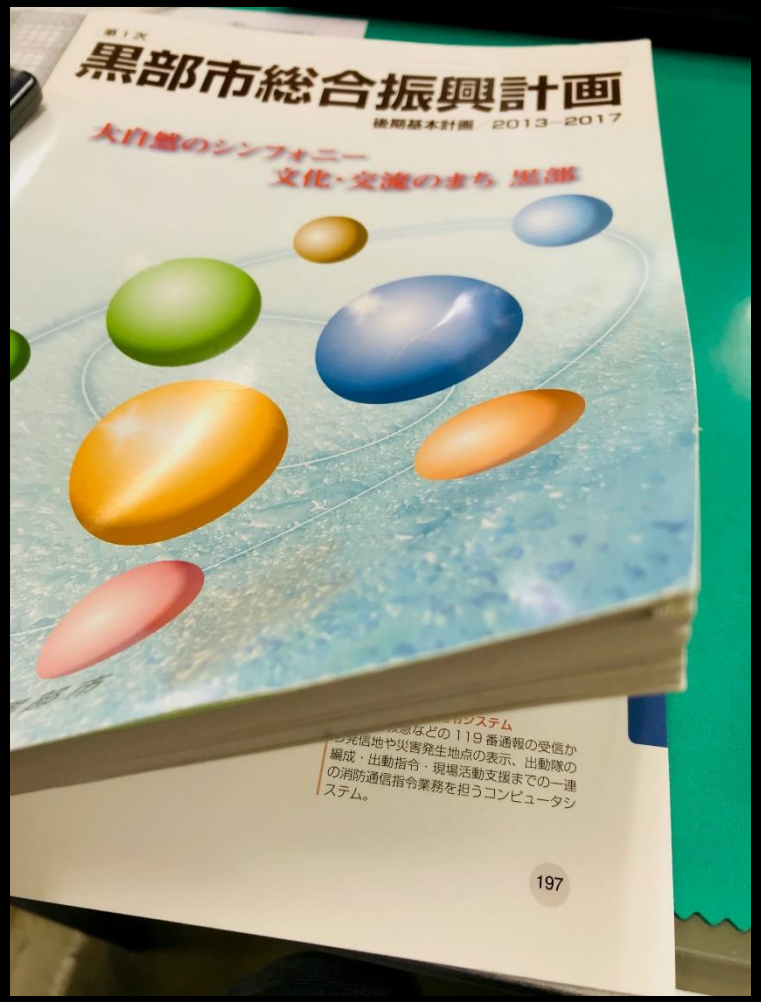
個人にログ（活動記録）が残るしくみ

個人の貢献度が見え、意識が高まるしくみ

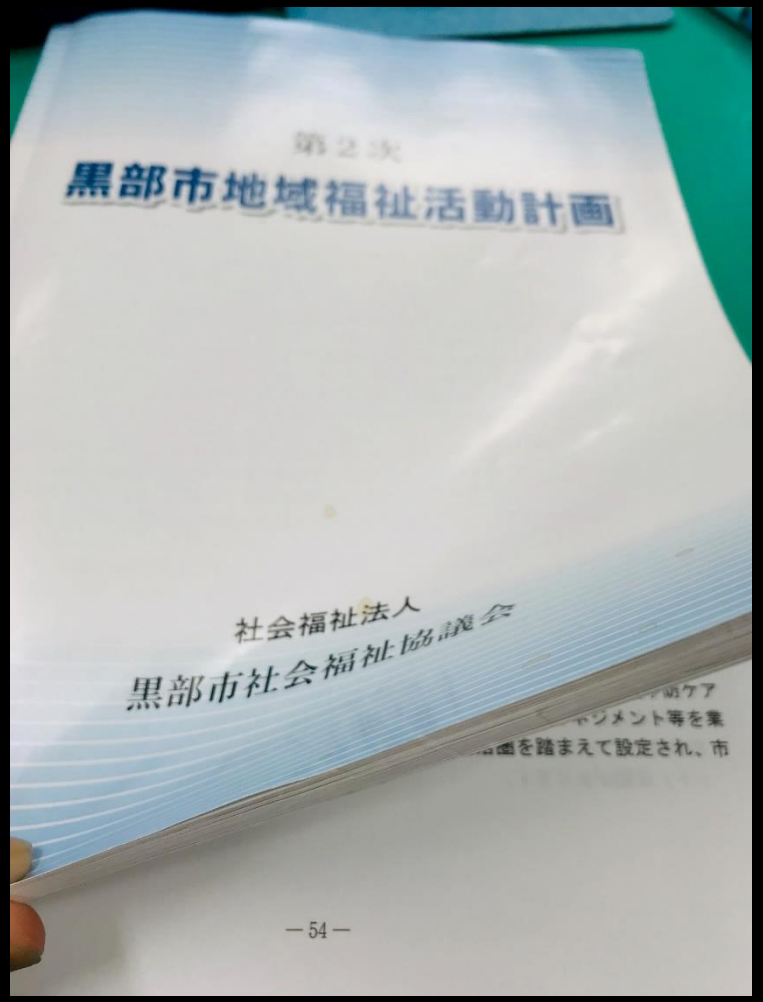
よくある計画って…



元気とやま創造計画　577P



黒部市総合振興計画　197P



第2次黒部市地域福祉活動計画　54P

黒部の福祉を良くする活動計画

Kurobe Social Welfare Action Plan

2019年度 — 2023年度

1 活動人口を増やそう

2 話すことからはじめよう

3 すべての人々に福祉を

4 U-40代の力を活かそう

5 パートナーシップで目標を達成しよう

5 GOALS for 黒部

この活動計画は、「お互いさまの社会の実現」を目指し民間の福祉活動団体や活動者が、ここから5年間、何を目標（ゴール）にどんなこと（ターゲット）に力を入れて取り組んでいくのかを示すものです。なお、本計画は「第3次黒部市地域福祉活動計画」をわかりやすくまとめたものです。

作成：第3次黒部市地域福祉活動計画策定委員会　事務局：社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

難しくて、
面倒くさいことを
分かりやすく、シンプルに。

4ページに！笑

でも、EBPMを重視。

（根拠に基づく政策立案：Evidence Based Policy Making）

The承認会議！

参加型の活動計画づくりへ！

承認機関ではなく

みんなで学び、考え、つくる場

5.5

政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

10.3

差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、並びに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。

16.7

あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。

17.17

さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

1
活動人口を
増やそう
2
話すことから
はじめよう
3
すべての
人々に福祉を
4
U-40代の
力を活かそう
5
パートナー
シップで目標を
達成しよう
5
GOALS
for黒部

地域福祉に関わる全ての団体や人々と共に目指す5の目標と15の取り組み

それぞれがゴールに対してアクションを起こす

（参考例）

黒部市社会福祉協議会
- くろべネット推進事業
- ボランティアセンター事業
- 日常生活自立支援事業
- …etc.

黒部市民生委員児童委員協議会
- 市民生委員児童委員研修
- 子育てすくすくネットワーク
- …etc.

黒部商工会議所青年部
- 生活困窮者への生活環境整備の協力

1. 活動人口を増やそう
2. 話すことからはじめよう
3. すべての人々に福祉を
4. U-40代の力を活かそう
5. パートナーシップで目標を達成しよう

現状やこれからの課題
（調査結果）

【良いところ】活動している人にとって
- いろんな世代とつながるきっかけがつくれる
- ネットワークが広がる
- いろんなことを学べる
- 感謝される、やりがいや生きがいにつながる

課題の複雑化
- 高い専門性が必要
- 作業の複雑化
- デジタル化についていけない
- 学ぶ時間がない、術がない

連携・協働の難しさ
- 行政や社協との連携不足
- どこを頼ればよいか分からない
- 話し合う場や時間がない
- 制度やサービスに頼り過ぎてしまう

担い手不足
- リーダー不足、福祉人材の不足
- 地域活動者の減
- 福祉専門職の不足

地域での孤立・孤独の進行
- 近所付き合いの希薄化
- 核家族化
- 老々介護、2025問題
- 8050問題

人口減：統計データ
- 人口減少　約42,000人→2045年約32,600人
- 少子化　出生数 2017年283人(前年比▲3.1%3年連続減)
- 高齢化　高齢化率 2015年30.5%→ 2045年38.8%

オール黒部で取り組む3つの重点事業
（5ヵ年推進）

- くろべネット 包括的な地域での見守り
- 地域福祉分野でのICT利活用
- 小地域福祉活動の強化

黒部市社会福祉協議会が中心となって推進する事業

黒部市の上位計画（vision）

第2次黒部市総合振興計画
第3次黒部市地域福祉計画

整合性・連携
持続可能な地域づくり

黒部の福祉を良くする活動計画

Kurobe Social Welfare Action Plan

2019年度 ― 2023年度

1 活動人口を増やそう
2 話すことからはじめよう
3 すべての人々に福祉を
4 U-40代の力を活かそう
5 パートナーシップで目標を達成しよう

5 GOALS for 黒部

世界と地域をつなぐ
持続可能な地域づくり

SDGs（持続可能な開発目標）

ゴールの確認　自分たちが何を目指して何のためにやっているのか？
ターゲットに対して自分たちができることを考えてみる

黒部市 社会福祉協議会	黒部市民生委員 児童委員協議会	黒部市ボランティア 部会協議会	NPO法人 ボランティア団体	etc.…
ボランティアセンター運営事業（1 活動人口を増やそう／5 パートナーシップで目標を達成しよう）	民生委員児童委員研修会（4 U-40代の力を活かそう）			
日常生活自立支援事業（4 U-40代の力を活かそう）	子育すくすくネットワーク（3 すべての人々に福祉を）			
小地域福祉活動強化事業（1 活動人口を増やそう）	○○○○			

既存事業のチェックと新規事業の企画立案や課題設定に活かす

黒部市社会福祉協議会の全事業、業務を５goals、重点事業との位置づけと関連性を確認

黒部市社会福祉協議会事業一覧

令和３年度　黒部市社会福祉協議会事業チェックシート

5 GOALS for 黒部

1 活動人口を増やそう
2 話すことからはじめよう
3 すべての人々に福祉を
4 U-40代の力を活かそう
5 パートナーシップで目標を達成しよう

私たちが取り組む 3つの重点事業 [5カ年推進]

くろベネット
誰もが安心して暮らせる包括的な見守り支援体制の強化
「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」の実現のために、ご近所や地域単位での普段の見守りを大切にしながら、黒部市全域で住民と企業や行政、専門職などが連携することで市民総参加の地域共生社会の実現に取り組んでいきます。

地域福祉分野でのICTの利活用
ICTを利活用した地域福祉事業の効率化、発展的な継続
人口減少や福祉の担い手不足、複雑多様化する地域課題に対して、ICTの力を活用することにより、効率や利便性を高め、福祉活動支援者の環境や活動を間接的に支援し、地域福祉推進力を強化していきます。

小地域福祉活動の強化
それぞれの地域特性に対応した地域福祉推進の計画づくり
黒部市全体を考えながらも、それぞれの小地域（16地区）の地域特性や実情にあった活動や事業を考えることが必要です。地域単位で調べ、考え、話し合う機会をつくり「自分たちの地域を自分たちで良くしていく」住民主体の活動をつくりだします。

（各担当で確認）　単位：千円

事業名	内容	5GOALS	重点事業	担当課	担当係	担当者	事業の方向性	3年間の方向性	事業費	特定財源 [illegible]	特定財源 共同募金	特定財源 受託	特定財源 その他	小計 (a)	その他の[illegible] (B)	合計 (a)+(B)	R3市補助金充当額	R2市補助金充当額	差引増減額	コメント（担当）	コメント
1）市社会福祉協議会事業費補助									20,238	4,459	3,270	0	5,850	13,579	690	14,269	5,969	5,927	42		
①地域福祉活動推進事業									17,584	3,934	2,950	0	5,744	12,628	0	12,628	4,956	4,914	42		
●法人運営事業									8,594	0	1,950	0	4,630	6,580	0	6,580	2,014	2,014	0		
社会福祉大会開催費	黒部市社会福祉大会の開催	2 話す 3 すべての人々に 5 パートナーシップ #VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE! #VALUE!	総務課	法人運営係	森田・中島	福祉大会は、表彰と映画上映を中心に例年通りに実施していく。	社協としての大会決議をもとに、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを地域住民と共に推進していく。	660		350		210	560		560	100	100	0	社協としての大会決議をもとに、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを地域住民と共に推進していく。	式典などの簡素化や映画 つ、継続の必要な事業と
広報紙発行費	広報誌「福祉くろべ」（年12回）「防災book」（年1回）の発行	1 活動人口 2 話す #VALUE! #VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE! #VALUE!	総務課	法人運営係	高村彩	広報誌を通して、福祉やボランティアのさまざまな事業や活動を紹介し、「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」の推進を図る。	SNSの活用や取材に協力していただいた民間の企業・店舗等で気軽に読むことができる簡易版「福祉くろべ」の配布等を検討し実施していく。	4,414		1,100		1,800	2,900		2,900	1,514	1,514	0	~~令和元年度実施の読者アンケートの結果を基にリニューアルを図り、~~市民の皆様の地域福祉への関心及び福祉活動の啓発を目的とし、市民の暮らしに役立つ広報誌づくりに努めていきたい。	配布先の増加に伴い、最 える。時代に合わせ変化 報を届ける役割として重
法人基盤強化/あり方推進事業	理事会・評議員会、経営戦略会議、法人内連携会議並びに法人基盤強化に向けてのプロジェクトの立ち上げ	2 話す 5 パートナーシップ #VALUE! #VALUE! #VALUE!	2 ICT #VALUE! #VALUE!	総務課	法人運営係	小柴・森田	法人全体の基盤強化に向け、横断的な事業の企画立案及び内部での調整を円滑に行う。	職員の企画力・企画力の向上に取り組み、福祉分野におけるICTの利活用など将来を見据えた先駆的な事業も進めていく。	500				500	500		500	0	0	0	法人全体の基盤強化に向け、経営戦略計画（重点事業計画）を整備し、福祉分野におけるICTの利活用をはじめ、先駆的な事業を進めていきたい。	自主財源を活用し、法人 要がある。
黒部善意銀行との連携事業	黒部善意銀行の事務及び活動や事業の推進	5 パートナーシップ #VALUE! #VALUE! #VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE! #VALUE!	総務課	法人運営係	高村彩	収入は預託金しかないが、ここ数年は預託金も減少しているため、どのように預託金を増やしていくのか課題。善意銀行に対する認知度を上げ、預託金を増やしていく必要がある。	預託金を増やしていき、黒部善意銀行の役割を明確にする。預託金の使途を、どのような社会福祉事業に活用できるか検討していく必要がある。	0					0		0	0	0	0	黒部善意銀行の住民の認知度を高めていく必用がある。また、活用についても考えていかなければならない。	同左
黒部市遺族会・黒部護国神社奉賛会事務局	黒部市遺族会・黒部護国神社奉賛会の事務局運営	3 すべての人々に 5 パートナーシップ #VALUE! #VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE! #VALUE!	総務課	法人運営係	高村彩	現会員の年齢層は高齢となってきており、年々解散する地区が増えてくることが予想される。	県内の遺族会の方向性を見ながら、会の存続だけでなく運営についても検討していく。	0					0		0	0	0	0	県内の遺族会の方向性を見ながら、会の存続及び運営についても検討していく。定例会開催時に役員の意見も聞きながら事務局としてバックアップしていく。	同左
人事、給与、法人庶務業務、労務管理	人事、給与、法人庶務業務、労務管理	#VALUE! #VALUE! #VALUE! #VALUE!	#VALUE! #VALUE! #VALUE!	総務課	法人運営係	森田	働き方改革を推進し、職員のワークライフバランスを整え、働きやすい職場環境をつくっていく。	新しくなっていく法制度を迅速に取り入れ、規程や規則の改正並びに施行に順次対応していく。	0					0		0	0	0	0	制度改正や新制度の情報収集を怠らず、順次対応していく。 令和3年4月から制度化される同一労働同一賃金法の対応は早急に進めていく。	同左

1ページ

5 GOALS for 黒部

第３次黒部市地域福祉活動計画の推進と
黒部市社会福祉協議会実施事業の関連性について

１　第３次黒部市地域福祉活動計画の推進と関連性

本会は、黒部市の地域福祉の推進を図る中核的組織として、第３次黒部市地域福祉活動計画の推進と共に、黒部市の様々な福祉関係団体と連携協働を行いこの計画の PDCA サイクル※15 を回していく存在である。

また、黒部市の社会福祉法人として、本会の実施計画にも反映し、各事業が活動計画のどの部分に関連があるかを明らかにして取り組む必要がある。

２　具体的な実施事業

（１）市社会福祉協議会事業計画への反映

・既存事業ごとの関連性の確認

・新規事業の企画立案

・事業計画書へのマーキング（5goal のロゴを付ける）

（２）第３次黒部市地域福祉活動計画推進評価委員会の設置

・推進評価を行うための体制として委員会を設置

・福祉関係団体及び地域福祉活動者への周知と啓発

（３）第３次黒部市地域福祉活動計画に掲げる重点事業の推進

本会の重点事業と同じく黒部市全体で推進を図る３つの事業の取り組み

・くろべネット

誰もが安心して暮らせる包括的な見守りの強化

・地域福祉分野での ICT の利活用

ICT を利活用した地域福祉事業の効率化、発展的な継続

・小地域福祉活動の強化

それぞれの地域特性に対応した福祉推進の計画づくり

※15　PDCA（ピーディーシーエー）サイクル：「Plan＝計画」「Do＝実行」「Check＝評価」「Action＝改善」の４つの英単語の頭文字から、「PDCA サイクル」と呼ばれている。４つの段階を循環的に繰り返し行うことで、仕事を改善・効率化することができる継続的改善手法。

黒部市社会福祉協議会の事業計画書に活動計画の位置づけを明記
各事業ごとにもマーキングして表示

（５）地域ケア会議への参画

（６）生活困窮者自立支援事業の推進

５　地域支援

地区社会福祉協議会を中心とした地域づくりの推進を図るために職員の派遣や各種研修会を行う。また地域の担い手となる人材育成やボランティア活動の推進を図る。

（１）地区社会福祉協議会への伴走型支援

（２）地区社会福祉協議会事業への職員派遣及び研修会の開催

（３）「くろべミニサミット」の開催

（４）ボランティア活動の推進

・ボランティア団体の育成と組織化の推進

・児童生徒のボランティア活動の普及と福祉教育の推進

・災害ボランティア活動の推進

・ボランティア養成研修会の開催

（５）介護予防教室の開催

（６）高齢者の生きがいと健康づくり事業の推進

（７）介護予防活動普及員設置事業･元気はつらつ体操教室事業の推進

（８）黒部市共同募金委員会との連携事業

（９）黒部市民生委員児童委員協議会との連携事業

（10）福祉団体の育成

計画を実行していくための方法PDCAサイクル

Plan（計画）

それぞれの団体が自分たちの活動がどの目標とリンクするのかを確認する。
もしくは、取り組みを考える。

黒部の福祉を良くする活動計画
Kurobe Social Welfare Action Plan

地域福祉に関わる全ての団体や人々と共に目指す
5の目標と**15**の取り組み

Do（実行）

それぞれが5つの目標に向かって事業や取り組みを進めていく。
中間支援団体、社会福祉法人、公益法人、福祉関係団体、NPO法人、ボランティア団体、企業、住民等

（例）

黒部市社会福祉協議会
くろベネット推進事業
ボランティアセンター事業
日常生活自立支援事業
…etc.

黒部市民生委員児童委員協議会
市民生委員児童委員研修
子育てすくすくネットワーク
…etc.

日本語教室IN黒部
外国人へのやさしい日本語教室

北日本新聞販売店
「くろベネット」企業版へ協力

黒部商工会議所青年部
生活困窮者への生活環境整備の協力

市社会福祉協議会は、活動計画の実行と推進を図るための活動を行う。

Check（評価）

市社会福祉協議会が中心となり取り組みの集計と評価を検証する委員を設置。
取り組み状況の把握により、次年度以降の計画への反映、社会変化などにも対応していく。（2年目以降指標などの設定）

マーキングした事業を集める、調べる。

何が実施されていて、何が不足しているのかを把握する。

急速な社会変化により計画の微調整を行う。

黒部の福祉を良くする
活動計画推進・評価委員会
【黒部市社会福祉協議会】

Action（改善）

マーキングの呼び掛け、
活動計画の啓発、意識付け

GOAL

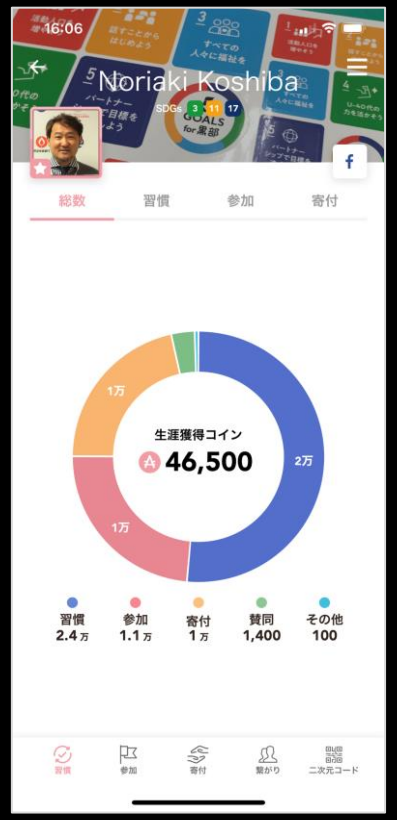
市民の地域への参加を増やす

参加

の定義（個人的）

- 行動・活動を起こす
- 活動に参加する
- 寄付・応援する
- 知る・学ぶ
- 関心を持つ・想う

可視化と参加のプラットフォームとなる
WEBサイトの構築とactcoinの活用

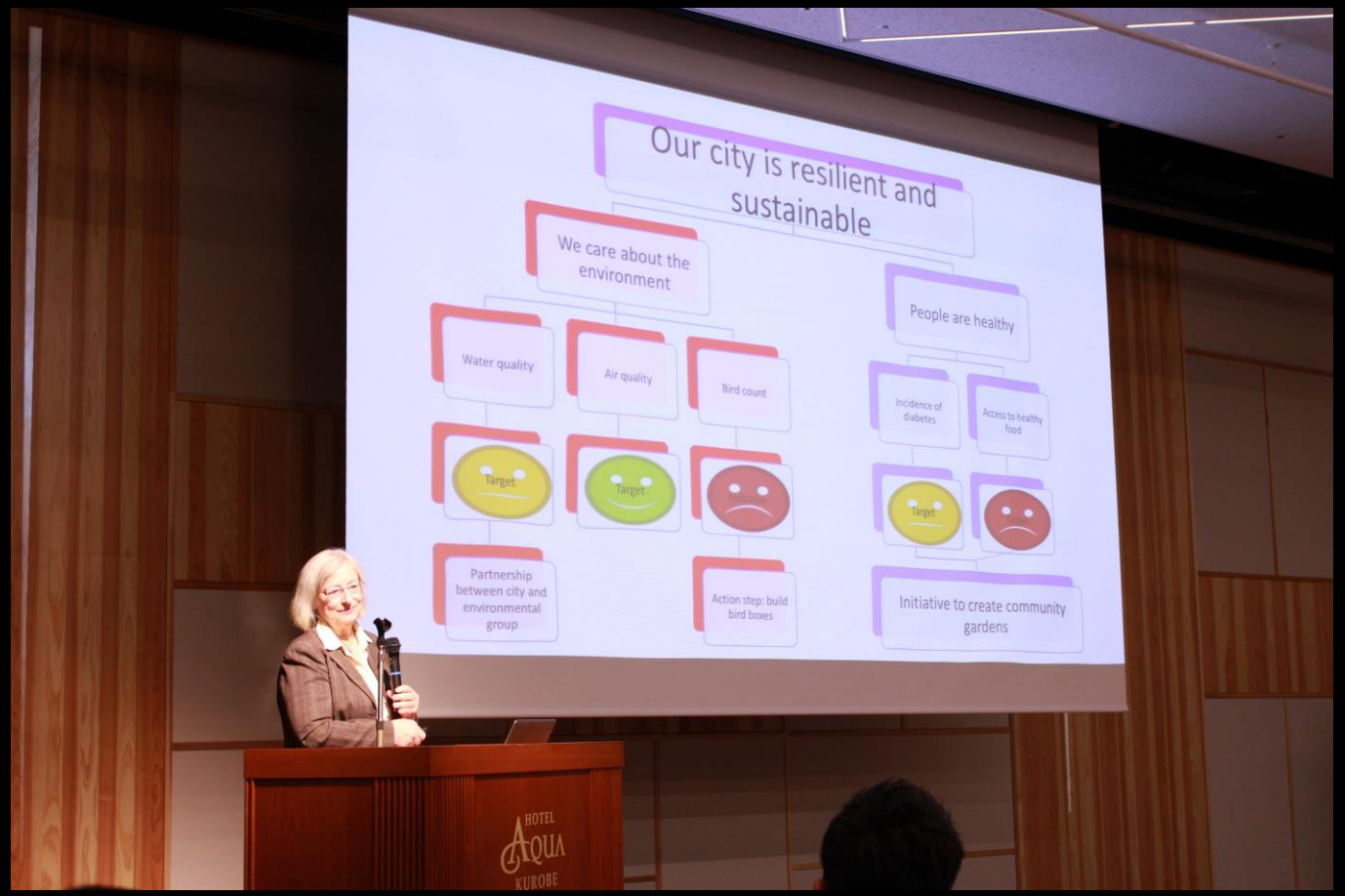


目標と活動の可視化

国際交流基金日米センターの助成事業として
CIC（アメリカ）からの学びとノウハウ共有

参加のプラットフォーム

プロジェクトと参加者のマッチング
活動ログ、貢献度の可視化



目標と活動の可視化

国際交流基金日米センターの助成事業として
CIC（アメリカ）からの学びとノウハウ共有

WEBサイト「５goals for黒部」https://5goalsforkurobe.com/

あなたも一緒にGOALを目指そう！！

黒部には、5GOALS達成のために活動している団体や、実施中のプロジェクトがたくさんあります。
あなたに合った活動もきっとあります。ぜひ、一緒に5GOALS達成を目指して活動しましょう。

団体から探す

団体を全て見る

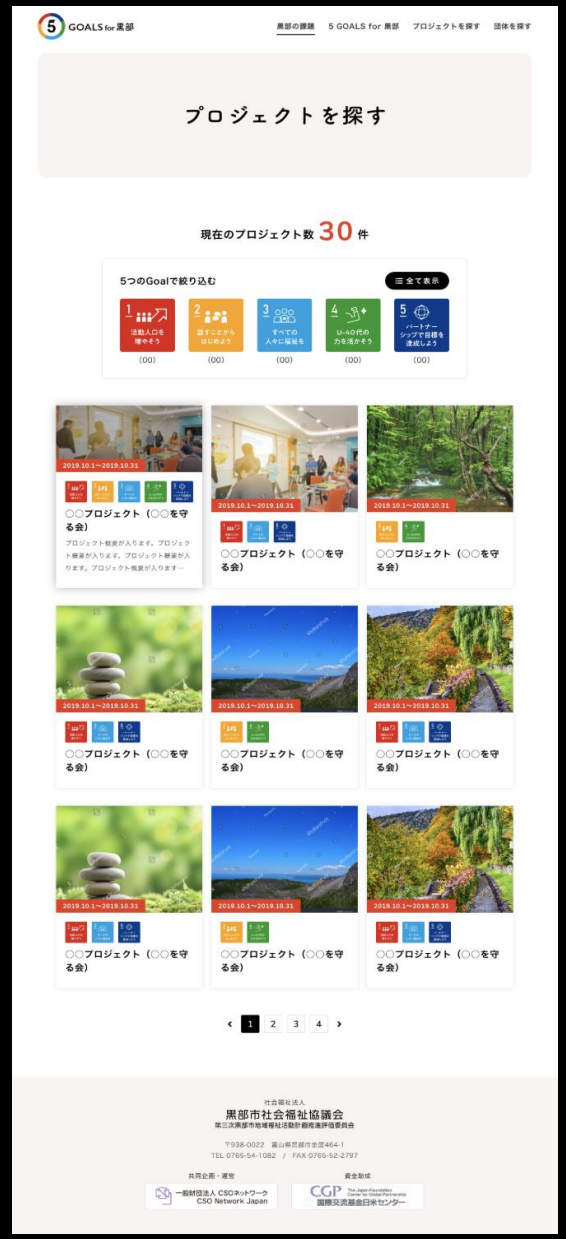
現在の団体数 30 団体

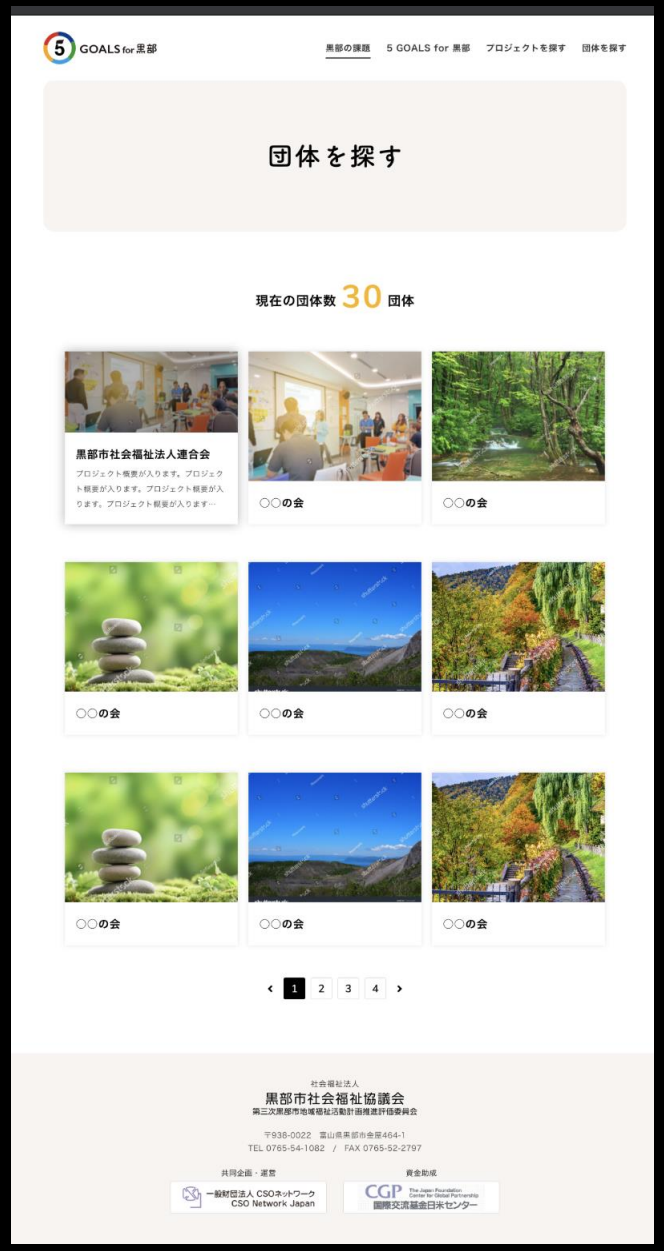
プロジェクトから探す

プロジェクトを全て見る

現在のプロジェクト数 30 件

構築中のWEBサイト【5goals for黒部】





構築中のWEBサイト【5goals for黒部】

3 すべての人に健康と福祉を

5 ジェンダー平等を実現しよう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう

5 GOALS for 黒部

PDCAサイクルの段階的計画

【１年目】

・どのくらいの団体、企業が取り組んでいるか？
・既存事業のマーキング
・５goalの意識啓発と参加呼びかけ
・SDGsや総合振興計画との関連
・目標指標や数値の検討

【２年目】

・目標数値の設定
・市民、個人でも参加できるしくみづくり
・評価、改善プラン

【３年目～】

評価・改善・推進のサイクル

WEBサイトの構築

●とにかく覚えてもらう、記憶に残す
●流通、浸透させる
●数値を見せる（現状と目標）

●インパクト設定
●参加のプラットフォーム
●評価、改善のしくみ

●インパクトの評価
●参加のプラットフォーム
●評価、改善のサイクル構築

※昨年度までの委員会で協議した結果の体制案

【5goals推進評価委員会】
推進チーム/評価チーム

○推進チーム
- 推進部会、W/Sの開催
- 参加型プラットフォーム（WEBサイト）の作成と運用
- PR/広報

○推進評価委員会
- 推進評価計画の進捗管理、確認等
- フォーラムの開催

○評価チーム
- 評価部会、W/Sの開催
- 評価指標の作成
- 評価体制の構築

やらなきゃいけないことは、そうなんだけどこれでは浸透しない@言葉も体制も！

キーポイント

住民主体でつくる推進と評価

「誰かがつくってくれる、やってくれる」からの脱却

オープンと共有

開かれた場、みんなが参加できるしくみ

データの活用

データに基づく根拠と検討（EBPM）

と言うことで、やってみます。

できることから

くろべのふくしを良くするプロジェクトチーム

漢字だらけの硬いイメージからの脱却

全員がメンバー！

関係性をフラットにする、オンラインでの配信もする

データを見える化

ダッシュボードをつくります

5 GOALS for 黒部

次の段階

今からです！
それを考える推進評価委員会

どのように目標の進捗を測るの？

みんなで！
市民主体で進めていくしくみ

誰が測っていくの？

【参　考】
東洋経済
住みよさランキング

■ランキングの対象
19 年 6 月時点で、全国にある市と特別区（東京 23 区）が対象。特別区のうち、千代田区、中央区、港区の 3 区は対象から除外しており、812 市区を対象としている。

■算出指標
「安心度」、「利便度」、「快適度」、「富裕度」の 4 つの視点から、22 のデータを用いて算出。

■算出方法
各指標について、平均値を 50 とする偏差値を算出。すべての指標の偏差値を平均したものを「総合評価」としている。また、「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」の部門ごとの平均偏差値での順位づけを行っている。偏差値は、特異数値による過度の影響を避けるため、各指標の最高を 70、最低を 30 に調整しており、末尾に※を付した指標は、小→大の順に算出。また、財政力指数は特別区を除外して算出している。

住みよさランキングの算出指標

【安心度】		
①人口当たり病院・一般診療所病床数	17 年 10 月	厚生労働省「医療施設調査」
②老年人口当たり介護老人福祉・保健施設定員数	17 年 10 月	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」
③ 20 ～ 39 歳女性人口当たり 0 ～ 4 歳児数	18 年 1 月	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
④子ども医療費助成（対象年齢・所得制限の有無）	19 年 6 月	東洋経済調べ
⑤人口当たり刑法犯認知件数（※）	17 年	各都道府県警察調べ
⑥人口当たり交通事故件数（※）	17 年	交通事故総合分析センター調べ
【利便度】		
⑦人口当たり小売販売額	15 年	総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」
⑧人口当たり大規模小売店店舗面積	18 年	東洋経済「全国大型小売店総覧」
⑨可住地面積当たり飲食料品小売事業所数	16 年 6 月	総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」
⑩人口当たり飲食店数	16 年 6 月	総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」
【快適度】		
⑪転出入人口比率	15 ～ 17 年	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
⑫人口当たり財政歳出額	17 年度	総務省「市町村別決算状況調」
⑬水道料金（※）	19 年 6 月	東洋経済調べ
⑭汚水処理人口普及率	18 年 3 月	国土交通省、農林水産省、環境省調べ
⑮都市計画区域人口当たり都市公園面積	17 年 3 月	国土交通省「都市公園整備水準調書」
⑯気候（月平均最高・最低気温、日照時間）	81 ～ 10 年	気象庁「メッシュ平年値データ」
【富裕度】		
⑰財政力指数	17 年度	総務省「市町村別決算状況調」
⑱ 1 事業所当たり売上高	16 年 6 月	総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」
⑲納税義務者 1 人当たり所得	17 年	総務省「市町村税課税状況等の調」
⑳ 1 住宅当たり延べ床面積	13 年 10 月	総務省「住宅・土地統計調査」
㉑持家世帯比率	15 年 10 月	総務省「国勢調査」
㉒住宅地平均地価	18 年 7 月	国土交通省「都道府県地価調査」

（注記）
・①の病床数は、各市区で算出した値と「二次医療圏」で算出した値を比較し、高い値で偏差値を算出。
・④の子ども医療費は、対象年齢と所得制限の有無を東洋経済が指数化して偏差値を算出。
・⑦の小売販売額、⑧の大型店面積は、各市区で算出した値と総務省が設定した「都道府県内経済圏」（17 年就業構造基本調査で設定したもの）で算出した値を比較し、高い値で偏差値を算出。
・⑫の歳出額は、歳出総額から議会費、総務費、災害復旧費、公債費を除いた値で算出。
・⑯の気候は、月平均最高気温、月平均最低気温、日照時間のそれぞれの偏差値の平均値を採用。

20200804　黒部市社会福祉協議会　総務課経営戦略係
13:30実験開始～17:00までオンライン

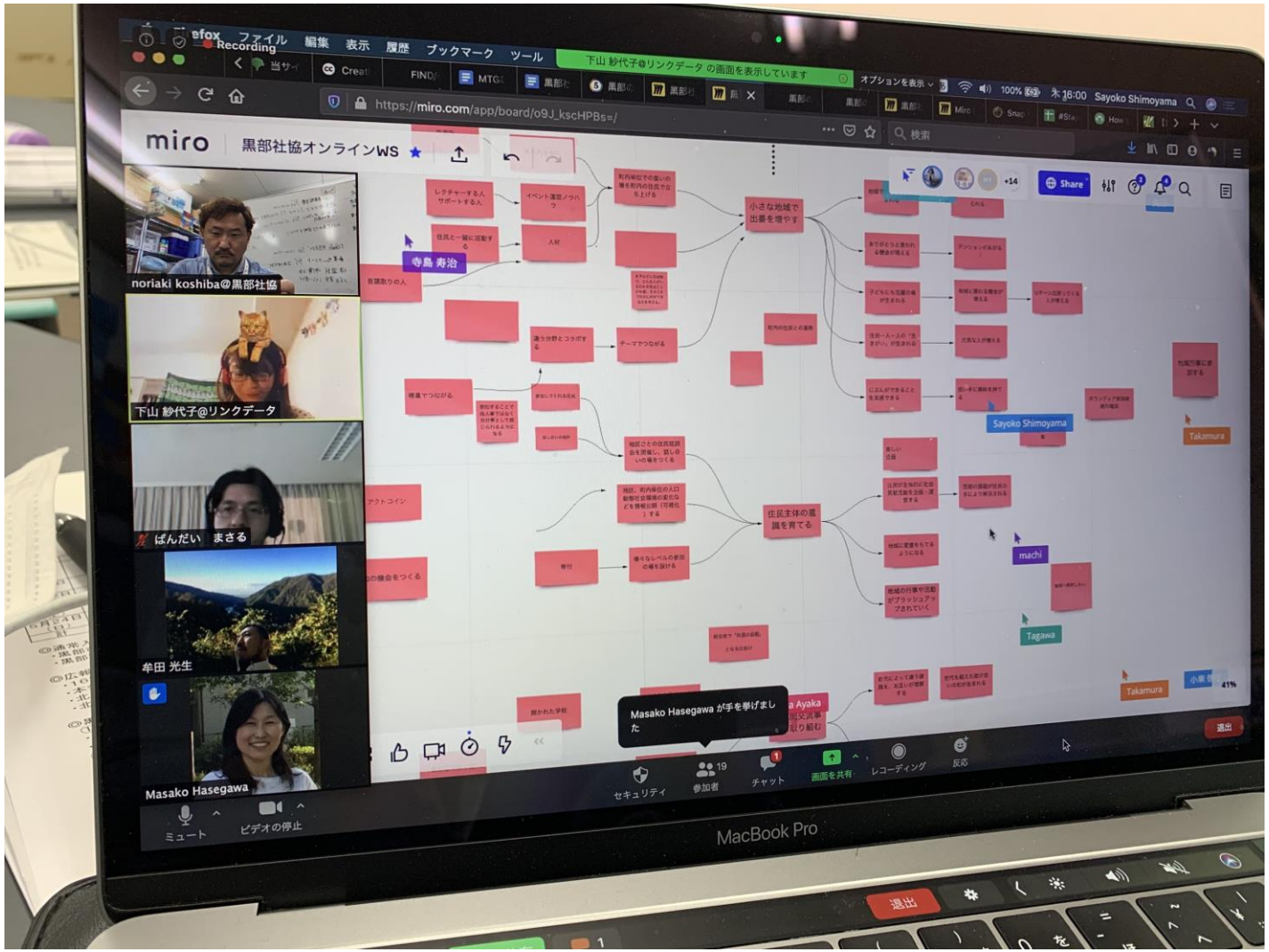
やってみなけりゃ、分からない！

第3回

黒部社協オンライン化 実験室

5 GOALS for 黒部

今回は、「指標づくり」のWSを具体的にやってみよう！



オンラインを活用することでの新しい価値を発見することが出来た！（もちろんデメリットもある）

5

目指すGOAL

「市民主体のまちづくり」＝市民社会の創造
自分たちのまちは、自分たちで良くしていく

仮説
（結論）

社会をもっと**「見える化」**
できれば、市民が社会に参加する。

見える化

【活動】

場、プラットフォーム

仮説：「知れば人は動く」
何が出来るのかが分からないだけ。

プラットフォームの見える化

WEBサイト「5goals for黒部」
https://5goalsforkurobe.com/
共感/意識/行動変容を生み出す

活動の見える化

【しくみ】

市民参加の指標づくり

仮説：「人は主体性を持ちたい」
自分たちでまちをつくる楽しさがある。

目標（指標）の見える化

推進評価の見える化

仮説：「気づけば人は動く」
みんな良くしようと思っている。

課題や現状の見える化

議論の見える化

【地域】

地域の現状や課題

データの見える化
データ利活用
（情報をデータに）

参考資料

社会貢献の見える化
ボランティアセンター機能のクラウド化
寄付管理のシステム化を一体とした

新たな地域主体エコシステム構築（案）

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会　総務課経営戦略係　20200728

地域主体エコシステム：社会貢献の見える化/ボランティアセンター機能のクラウド化/寄付管理システム

団体と寄付のマッチング

寄付

市社協

congrant

【寄付管理システム】
社会福祉協議会が
プラットフォームを提供

【寄付先の選択】
○社会福祉協議会ー地域福祉の推進
○赤い羽根共同募金ー黒部市内の活動団体の事業
○黒部市善意銀行ーモノの寄付
○黒部市内社会福祉法人ー市内11の社会福祉法人
○黒部市内ボランティアー市民活動等60団体

支援団体を
探す

寄付

【社会貢献の見える化】

「Actcoin」のしくみを活用
活動のログが個人に残り、
可視化される。

活動

活動を探す

WEBサイト「5 goals for黒部」
https://5goalsforkurobe.com/
共感/意識/行動変容を生み出す

活動を起こす

【行動変容を促す】
気づき/学び/理解

寄付(金/物)
活動を起こす
活動に参加
より学ぶ

活動へ参加

学び

現状を知る

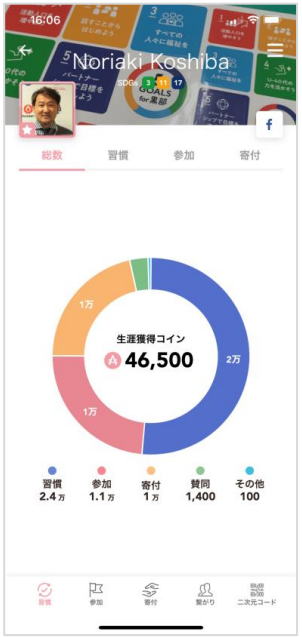
もっと知る

【学びの場の企画】
講座/セミナー/体験

ボランティアセンター機能

社会貢献の見える化

【社会貢献の見える化】



「Actcoin」のしくみを活用
活動のログ（記録）が
個人に残り、可視化される。

習慣の記録

寄付した記録

習慣のチェック

活動の参加記録

寄付

市社協

congrant

【寄付管理システム】
社会福祉協議会が
プラットフォームを提供

寄付

支援団体を
探す

活動

活動を探す

活動を起こす

WEBサイト「５goals for黒部」
https://5goalsforkurobe.com/
共感/意識/行動変容を生み出す

活動へ参加

学び

現状を知る

もっと知る

ボランティアセンター機能のクラウド化

対面的な支援
ボランティアセンター機能

クラウド化された
ボランティアセンター機能

どちらも必要な機能

ITは苦手

対面的な支援
ボランティアセンター機能

データ化

参加者のマッチング

学びのマッチング

クラウド化された
ボランティアセンター機能

活動

活動を探す

WEBサイト「5 goals for黒部」
https://5goalsforkurobe.com/
共感/意識/行動変容を生み出す

学び

現状を知る

【行動変容を促す】
気づき/学び/理解

寄付(金/物)
活動を起こす
活動に参加
より学ぶ

【WEBサイトの役割】
活動の紹介
地域の現状
課題の見える化
参加できる方法

活動を起こす

活動へ参加

もっと知る

【行動変容】
気づき/学び/理解

寄付(金/物)
活動を起こす
活動に参加
より学ぶ

【学びの場の企画】
講座/セミナー/体験

寄付管理システム

WEBサイト「５goals for黒部」
https://5goalsforkurobe.com/

活動ログが残る

寄付管理データ
領収書の発行

団体と寄付のマッチング

お金

寄付

モノ

市社協

congrant

【寄付管理システム】
社会福祉協議会が
プラットフォームを提供

寄付が活動団体へ

活動

寄付先を探す

【寄付先の選択】
○社会福祉協議会ー地域福祉の推進
○赤い羽根共同募金ー黒部市内の活動団体の事業
○黒部市善意銀行ーモノの寄付
○黒部市内社会福祉法人ー市内11の社会福祉法人
○黒部市内ボランティアー市民活動等60団体

WEBサイト「５goals for黒部」
https://5goalsforkurobe.com/

みんなでつくる目標と指標で持続可能な地域をつむぎ出します

CI-Labo
Community Indicators Labo

CI-Labo は、参加型による地域の「見える化」で住民が主体となる地域づくりの調査・研究・実践を応援します

地域の風土や社会の構造に同じものはありません。だからこそ、そこで暮らす地域の方々による目標や指標をつくり、課題の解決に向けてみんなで動いていくことが大切です。

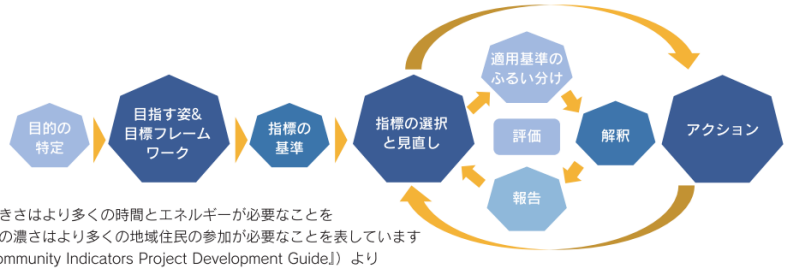
■Our Value – CI-Labo が大切にしている 3 つの視点

人口減少・高齢化が進む中、地域では様々な課題が顕在化しています。地域のデータと地域の様々な声を踏まえた地域独自の目標を参加型でつくり、目標達成への道のりを可視化する地域指標を使って評価、発信することで、より多くの人が地域活動に参加し、繋がることを目指します。

1. 地域に必要な情報を、分かりやすく、アクセスしやすい形で、発信します。
2. データと市民の力のかけ合わせを促進し、地域への参加を増やします。
3. 住民主体の地域づくりを推進する人材を育成します。

■Our Project – CI-Labo が考える理想的な地域づくりのモデル

地域づくりにおける目的の特定、目指す姿や目標の設定、目標への進捗状況を評価するための指標づくり、指標による測定評価、アクションに至るプロセスを通して、住民の参加による地域づくりを進めます。



図形の大きさはより多くの時間とエネルギーが必要なことを
図形の色の濃さはより多くの地域住民の参加が必要なことを表しています
（CIC『Community Indicators Project Development Guide』）より

■Our Work – CI-Labo の活動紹介

■活動支援
「黒部市地域福祉活動計画」推進をサポート

黒部市社会福祉協議会では、「黒部の福祉を良くする活動計画～第 3 次黒部市地域福祉活動計画」を地域目標「5 GOALS for 黒部」として参加型で策定。より多くの人にわかりやすく伝えるため、地域データや地域活動の可視化を盛り込んだウェブサイト構築を支援しました。今後は参加型で地域指標をつくり、目標達成への進捗状況を可視化していく予定です。

■調査・情報発信
米国の地域指標専門家によるフォーラム開催

2020 年 1 月、地域の課題・目標・指標を可視化し、持続可能な地域づくりを進めている米国コミュニティ・インディケーター・コンソーシアム（Community Indicators Consortium：CIC）関係者を日本に招聘し、地域指標による地域づくりについて学ぶフォーラムを横浜市と黒部市で開催しました。

地方公共団体、社会福祉協議会、大学等研究機関、NPO/NGO 等の地域活動を支援します。
また、参加型の地域づくりについて学び、活動を一緒に行う仲間も募集しています。
以下のご相談、ご質問等お気軽にお問い合わせください。

- 地域課題の見える化
- データの活用 / 分析
- 対話型・参加型による目標・指標の設定及び推進
- よく分かる・深める学びの場づくり

CI-Labo：Community Indicators Labo（シーアイラボ）

▶連絡先　〒169-0051　東京都新宿区西早稲田 2-3-18　アバコビル 5F
一般財団法人 CSO ネットワーク内（担当：長谷川雅子）
【Tel】03-3202-8188　【Email】office@csonj.org

▶メンバー　小柴徳明（黒部市社会福祉協議会）、鎌倉幸子（かまくらさちこ株式会社）、牟田光生（NPO 法人教育研究所）、宮下真美（日本ファンドレイジング協会）、長谷川雅子（CSO ネットワーク）

2019 年度国際交流基金日米センター（CGP）の助成による「地域指標を活用したマルチステークホルダーの参画による持続可能な地域づくり～日米の学びあいから生まれる新たな挑戦～」事業の一環として作成しました。

黒部市社会福祉協議会HP
http://www.kurobesw.com/
シンクタンク報告書・広報誌がダウンロードできます。

社会福祉法人　黒部市社会福祉協議会
koshiba-noriaki@kurobesw.jp